

こども環境セミナー報告(11年度第2回)

概要

- 主催 こども環境学会 北陸こども環境研究会
- 日時 2011年4月24日(日) 14:00-16:30
- 場所 マリーマリー (呉羽山山頂喫茶店)
- 参加者 (エントリー順) 以降敬称略
出席者: 早川隆志、富樫豊、栗原知子、吉本弘明、
藤井徳子、丸谷芳正 計6人
- 次第 進行・記録: 早川、富樫
第一部 東日本大震災「こどもたちに支援を」について
・富樫豊(建築遊人)
: 東日本大震災被害概要、被災者生活様相の報告
・栗原知子(福井大学)
: 東日本大震災こどもの遊び支援について緊急集会報告
第二部 日常実践報告
・丸谷芳正(富山大学)
: Forest Breeze Toyama

第一部 特別緊急報告

東日本大震災「こどもたちに支援を」について

はじめに

皆様周知のように大震災で子供を取り巻く環境は大変厳しい状況にありますので、私たちは「今何が起きているのか」を理解し「今何ができるのか」を考えたいと思っております。そこで、設けたのが今回の意見交換の場であります。

おりしもこども環境学会(こども環境の研究や実践を行っている団体)は、子供の環境・こども力回復・復興街づくりなど「こどもの視点で」支援の具体化に向けて検討に着手し、4月23日には東日本大震災「子供たちに支援を!!」緊急集会を行いました。心のケア、教育、など問題が山積しておりますので、緊急集会の報告とともに、皆様方と知恵を出し合い考えていければと思っております。

- 富樫豊(建築遊人)
: 東日本大震災被害概要、被災者生活様相の報告
三陸宮古から宮城県取までの沿岸域における津波被害、原発事故による放射線被害について、スライドで説明があった。
- 栗原知子(福井大学)
: 東日本大震災こどもの遊び支援について緊急集会報告
緊急集会においては、子どもに遊びを提供しに現地に入られたグループの活動報告があった。ここでは、そうした方々のうち、新田さん、天野さん、岸さんのグループの支援について、スライドを交えて報告があった。なお、緊急集会のプログラムは以下のとおりであったとのこと。

◆◆◆ 子どもたちに支援を！緊急集会 ◆◆◆

■東日本大震災による被災地の現状と課題

10:00~11:30 話題提供(敬称略)

新田新一郎(仙台在住・アトリエ自遊楽校)

被災地の現状=被災者の立場から

西本由美子(NPO法人ハッピーロード)

地震・津波・原発事故による被災=避難生活者の立場から

天野秀昭(大正大特任教授・日本冒険あそび場づくり協会)

被災地での子どもの遊び支援=被災地での事前調査を踏まえて

岸裕司(秋津コミュニティ顧問)

被災地支援のネットワークについて=被災地の事前調査を踏まえて

河原啓二(姫路市危機管理監)

被災地での医療支援=阪神淡路大震災、東日本大震災の支援活動を踏まえて

小寺隆幸(京都橘大学教授)

原発事故の現状と今後=放射能汚染地域の復興支援について

小西貴士(写真家・キープ協会)

こども・家族・地域=原発事故避難者への支援を通じて

11:30~12:00 質疑応答・自由討議

■支援活動行動計画の提案

13:00~14:00 ワークショップ

ファシリテーター: 開発彩子(演劇デザインギルド)

被災者・被災地支援者へのメッセージ

14:00~16:00 分科会

以下のテーマに分かれて行動計画案の立案

※共通する視点: 生活支援・空間・時間・情報・被災地とのネットワーク

テーマ1: 子どもにやさしいまちづくり: 生活教育空間

テーマ2: 子どもにやさしいまちづくり: 年と建築

テーマ3: 子どものあそび支援・学習支援

テーマ4: 乳幼児の生活支援

テーマ5: 放射能汚染地域の生活再生

16:00~17:00 フロアセッション・まとめ

支援活動行動計画(案)の提案

第二部 日ごろの実践活動報告

丸谷芳正(富山大学): Forest Breeze Toyama

学校が楽しくなる机と椅子をつくりました。これまでの机に不満を感じていた特別支援学校の生徒のためにです。今回はスライドがありませんが、パンフレットを持ってきましたので、これで大体の様子がわかると思います。機会があれば詳しくお話しします。とのことであった。